

平成30年度（2018年度）

入学者選抜に関する要項



高崎経済大学

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町1300番地

企画調整室 入試チーム

TEL 027-344-6265（直通）

FAX 027-344-7892（直通）

E-mail nyushi@tcue.ac.jp

ホームページアドレス

<http://www.tcue.ac.jp/>

携帯電話サイトアドレス

<http://daigakujc.jp/tcue/>



【QRコード】

目 次

大学の目的・学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
平成30年度(2018年度) 高崎経済大学入学者選抜日程の概要	2 ～ 3
1 入学定員及び募集人員	4
2 出願資格	5
3 入学者選抜方法	5
別表1・2 平成30年度(2018年度)高崎経済大学入学者選抜方法等	6 ～ 7
別表3 平成30年度(2018年度)高崎経済大学一般入試の実施 教科・科目等について	8 ～ 11
4 経済学部 特別入試	
(1) 推薦入試A	12
(2) 推薦入試B（大学入試センター試験利用自己推薦型）	13
(3) 帰国生徒	14
(4) 社会人	15
(5) 私費外国人留学生	16
(6) 2年次編入・転入	17 ～ 18
(7) 3年次編入・転入	19 ～ 20
5 地域政策学部 特別入試	
(1) 推薦入試 I	21
(2) 推薦入試 II（大学入試センター試験利用）	22
(3) 帰国生徒	23
(4) 社会人	24
(5) 私費外国人留学生	25
(6) 私費外国人留学生（2次）	26
(7) 2年次編入・転入	27
(8) 3年次編入・転入	28
6 学生募集要項配布開始日、請求方法及び問い合わせ先	29 ～ 31

※本要項は概要版です。変更が生じる場合がありますので、各試験の募集要項を必ず確認してください。

天災その他の事情により、入学試験の実施に関して変更が生じる場合があります。入試情報は、
本学ホームページ及び携帯電話サイトに掲載しますので、必ず確認してください。

大学の目的

学術研究の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、真理と平和を希求する人間の育成を図り、学理とその応用を攻究し、国の内外と地域の向上発展に貢献することを目的とする。

大学の学生育成目標

- 1 多様性を認識し、コミュニケーションのできる学生の育成
- 2 限りなき探求心で明日を切り拓くことのできる学生の育成
- 3 経済に通じ、地域を見る目を持って、国の内外において活躍できる学生の育成
- 4 いつでも、どこでも主体的に学び、学ぶ喜びを生涯持続できる学生の育成

大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

基礎的な学力を十分に備え、本学の目的及び学生育成目標に共感し、学部の目的と教育内容に魅力を感じ、明確な目的意識と「学びへの憧れ」を持ち、主体的に学ぶことのできる人を受け入れる。

学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○経済学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部では、以下のような資質を備えた人を積極的に受け入れる。

- 1 高校までの学習の内容をきちんと身につけている人
- 2 経済、経営の分野に強い関心があり、将来、国内外の経済・社会の第一線で活躍したいと考える人
- 3 自ら主体的に学ぼうという意欲のある人
- 4 多様な意見を尊重し、他者と協力して学習や課外活動に取り組める人

○地域政策学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域政策学部では、「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」に定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

- 1 大学で学ぶための基礎的な学力を身に付けている人
- 2 聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身に付けている人
- 3 地域社会に関する幅広い問題意識を持っている人
- 4 地域社会が直面する諸課題の解決に積極的に取り組む意欲を持っている人
- 5 大学内外の人たちと協力して学修・研究に取り組むことができる人

平成30年度(2018年度) 高崎経済大学入学者選抜日程の概要 《一般入試・推薦入試》

	一 般 入 試				推 薦 入 試			
	経済	地域	経済	地域	センター試験を課する		センター試験を免除	
	前期日程		公立大学中期日程	後期日程	経・推薦B	地・推薦II	経・推薦A	地・推薦I
9月				9月中旬 募集要項配布開始				
10月	10月上旬 大学入試センター試験出願							
11月	11月中旬 募集要項配布開始							
12月					11/1~7 出願期間			
					11/19 試験日			
					11/24 合格発表日			
1月					12/5 入学手続締切日			
					1/4~10 出願期間			
1月	1/13・14 大学入試センター試験							
	1/22~1/31 出願期間			書類選考のため 個別学力検査なし				
2月					2/7 合格発表日			
					2/14 入学手続締切日			
	2/25 個別学力検査							
3月	3/6 合格発表日		3/8 個別学力検査					
			3/12 個別学力検査					
	3/15 入学手続締切日							
			3/21 合格発表日					
			3/27 入学手続締切日					
	3/28 追加合格							
4月	4/6 入学式							

平成30年度(2018年度) 高崎経済大学入学者選抜日程の概要 《特別入試》

	地域	経済	地域	経済		地域	地域	
	2年次編入・転入 3年次編入・転入	帰国生徒 帰国生徒	帰国生徒 社会人	社会人	2年次編入・転入 3年次編入・転入	私費外国人 留学生	私費外国人 留学生	私費外国人 留学生(2次)
7月	7月中旬 募集要項配布開始				7月中旬 募集要項配布開始			
8月	8/18~25 出願期間							
9月	9/16 試験日 9/22 合格発表日	9月中旬 募集要項配布開始						
10月	10/6 入学手続締切日			10月中旬 募集要項 配布開始				
11月		11/1~7 出願期間			11/17~24 出願期間			
12月		11/19 試験日 11/24 合格発表日						
1月		12/5 入学手続締切日			12/17 試験日			1/4~10 出願期間
2月					1/9 合格発表日			1/28 試験日
3月					1/16 入学手続締切日	1/23 入学手続締切日		2/7 合格発表日
4月								2/21 入学手続締切日
	4/6			入学式				

1 入学定員及び募集人員

(1) 経済学部

学部	学科	入学定員 計480人	募集人員 ※1				
			一般入試		特別入試		
			前期日程	公立大学 中期日程	推薦A ※2	推薦B ※3	帰国生徒・社会人・ 私費外国人留学生
経済学部	経済学科	200人	140人	240人	70人	30人	若干人
	経営学科	200人					
	国際学科	80人					

※1 募集は、学部募集です。所属する学科は、本人の希望及び1年次の成績により、2年次進級時に決定します。

※2 推薦入試Aの募集人員70人の内訳は、小論文選択55人（地域推薦15人、全国推薦40人）、簿記・会計選択15人です。

※3 推薦入試Bは、大学入試センター試験利用自己推薦型の入試です。

(2) 地域政策学部

学部	学科	入学定員 計420人	募集人員 ※1					
			一般入試		特別入試			
			前期日程	後期日程	推薦I ※2	推薦II ※3	私費 外国人 留学生	帰国生徒 ・社会人 ・私費外国 人留学生 (2次)
地域政策学部	地域政策学科	150人	200人	100人	50人	45人	25人	若干人
	地域づくり学科	150人						
	観光政策学科	120人						

※1 募集は、学部募集です。所属する学科は、2年次前期中に決定します。

※2 推薦入試Iの募集人員50人に、高崎市立高崎経済大学附属高等学校5人を含みます。

※3 推薦入試IIは、大学入試センター試験利用の入試です。

2 出願資格

【一般入試】

平成30年度大学入試センター試験を本学の指示に従って受験した者で、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は平成30年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

【特別入試】

12ページ以降を参照してください。

3 入学者選抜方法

【一般入試】

試験日程ごとに本学が指示する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目及び本学が実施する個別学力検査の成績ならびに調査書を総合して判定します。

- (1) 各学部の入学者選抜方法は、別表1（6ページ）を参照してください。
- (2) 各学部の入学者選抜の実施教科・科目等については、別表3（8～11ページ）を参照してください。

【特別入試】

別表2（7ページ）及び12ページ以降を参照してください。

別表 1

平成30年度（2018年度）高崎経済大学入学者選抜方法等《一般入試》

選抜方法等 学部・学科名	個別学力 検査等の 日 程	個 別 学 力 検 査 等						2 段 階 選 抜		備 考 (欠員の 補充の 方法等)
		個 別 学 力 検 査 を 課 す る	実 技 検 査 等				第一段階の選抜 による合格者数			
			実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	ト 外 国 語 に お け る リ ス ニ ン グ テ ス を 課 す る	主として、調 査書の内容と 大学入試セン ター試験の成 績により第1 段階選抜を行 い、その合格 者について更 に必要な検査 等を行う	定 員 に 対 す る 倍 率		
								そ の 他		
経済学部 ・ 経済学科 ・ 経営学科 ・ 国際学科	前期日程 2月25日	○	×	×	×	×	実施しない		追加合格	
	公立大学 中期日程 3月8日	○	×	×	×	×	実施しない			
地域政策学部 ・ 地域政策学科 ・ 地域づくり学科 ・ 観光政策学科	前期日程 2月25日	○	×	×	×	×	実施しない		追加合格	
	後期日程 3月12日	×	×	×	○	×	実施しない			

※専門高校・総合学科卒業生入試、アドミッション・オフィス入試は実施しません。

平成30年度（2018年度）高崎経済大学入学者選抜方法等《特別入試》

選抜方法等 学部・学科名	推 薦 入 試									社会人・帰国生徒等のための特別入試			備考	
	推薦入試 試験種別	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、個別学力検査・小論文・面接・調査書等により判定する。ただし、経済学部推薦入試Bについては、学校長の推薦は必要ない。							推 薦 入 試 募 集 人 員	社 会 人	帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 子 女		
		課 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 を	個 別 学 力 検 査 を 課 す る	実 技 検 査 等										そ の 他
				実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リ ス テ ン グ テ ス ト を 課 す							
経済学部 ・経済学科 ・経営学科 ・国際学科	推薦入試A	×	○ ※1	×	○	○ ※2	×	○ (簿記・会計) ※3	70人 ※4	実 施 す る	実 施 す る	実 施 し な い		
	推薦入試B	○	×	×	×	×	×	×	30人					
地域政策学部 ・地域政策学科 ・地域づくり学科 ・観光政策学科	推薦入試Ⅰ	×	×	×	○	○ ※5	×	○ ※6	50人 (附属高校の 5人を含む)	実 施 す る	実 施 す る	実 施 し な い		
	推薦入試Ⅱ	○	×	×	×	×	×	×	45人					

※1 本学における課程履修に耐え得る最低限の英語能力を判定するための基礎学力試験です。

※2 小論文選択者のみ

※3 簿記・会計選択者のみ

※4 募集人員内訳：小論文選択 55人（地域推薦 15人・全国推薦 40人）、簿記・会計選択 15人

簿記・会計選択に出願できる者は、高等学校学習指導要領における専門教育に関する教科（商業）の科目のうち簿記及び会計を履修している者です。

※5 英語に関する問題を含みます。

※6 活動実績報告書

平成30年度（2018年度）高崎経済大学一般入試の実施教科・科目等について

《経済学部》

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験		個別学力検査等			
		教科	科目名等	教科	科目名等		
経済学部 480人 前期 140 中期 240 その他 100	経済学科 経営学科 国際学科 2月25日 3月8日	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1 数① 数I, 数I・数A, } から1 数② 数II, 数II・数B, 簿, 情報 } から1 理① 物基, 化基, 生基, 地基から2 理② または物理, 化学, 生物, 地学から1	から3 又は4	国	国語総合と国語表現, 現代文A, 現代文B, 古典A, 古典Bを合わせたもの 地歴 世B, 日B, 地理B } から1 公民 政経 } から1 数 数I, 数A, 数II及び数Bを合わせたもの (数Aは全範囲, 数Bは「数列」 「ベクトル」を出題範囲とする) 外 コミュニケーション英語基礎, コミュニケー ション英語I, コミュニケーション英語II, コミュニケーション英語III, 英語表現I, 英語表現IIを合わせたもの [2教科2科目]	から2
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [外国語を含む4教科4科目もしくは5科目]	国	国語総合と国語表現, 現代文A, 現代文B, 古典A, 古典Bを合わせたもの 地歴 世B, 日B, 地理B } から1 公民 政経 } から1 数 数I, 数A, 数II及び数Bを 合わせたもの (数Aは全範囲, 数Bは「数列」 「ベクトル」を出題範囲とする) 商 簿記・会計(「簿記」「財務会計I」 を出題範囲とする) 外 コミュニケーション英語基礎, コミュニケー ション英語I, コミュニケーション英語II, コミュニケーション英語III, 英語表現I, 英語表現IIを合わせたもの [2教科2科目]	から2 又は3	から2
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [外国語を含む3教科3科目もしくは4科目]				

経済学部 注意事項

1 科目名等に使用している次の表示は、それぞれカッコ内の語を表します。

国（国語）、世（世界史）、日（日本史）、現社（現代社会）、倫（倫理）、政経（政治・経済）、倫・政経（倫理、政治・経済）、数（数学）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地基（地学基礎）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）

2 大学入試センター試験の利用教科・科目等及び選択教科の得点の取り扱いについて

(1) 「地歴と公民から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(2) 「数学(①・②グループから1)」について、2科目受験した場合は、高得点の科目の得点を採用します。

※大学入試センター試験の数学に係るグループ区分については、大学入試センターのホームページを参照してください。(http://www.dnc.ac.jp/)

(3) 「理科②から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(4) 英語にはリスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は、失格となります。

(5) 前期日程において、外国語を除く5教科(国、地歴、公民、数、理)のうちから3教科より多く受験した場合は、高得点の3教科を採用します。

(6) 中期日程において、外国語を除く5教科(国、地歴、公民、数、理)のうちから2教科より多く受験した場合は、高得点の2教科を採用します。

3 個別学力検査等について

(1) 前期・中期日程において、「地歴」と「公民」の2教科については、出題4科目のうちから1科目しか選択できません。

(2) 中期日程において、「数学」と「商業」の2教科については、出題2科目のうちから1科目しか選択できません。

4 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について

(1) 前期・中期日程において、大学入試センター試験の配点は、「外国語」及び「国語」を100点に換算します。ただし、「英語」については、リスニングを含む250点を100点に換算します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の「英語」については、筆記試験の得点を100点に換算します。

(2) 配点に*印を付している教科は選択教科を表します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等								
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	商業	理科	外国語	配点 合計
センター試験	*100	*100		*100	※	*100	100	400
個別学力検査	*200	*200		*200			*200	400
計								800
センター試験	*100	*100		*100	※	*100	100	300
個別学力検査	*200	*200		*200			*200	400
計								700

※商業に関する科目は、センター試験では数学に含まれています。

別表 3

平成30年度（2018年度）高崎経済大学一般入試の実施教科・科目等について

《地域政策学部》

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科	科目名等	
地域政策学部 420人 前期 200 後期 100 その他 120	地域政策学科 地域づくり学科 観光政策学科	前期 2月25日	国	国 世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B } から1 公民 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数① 数I,数I・数A, 数② 数II,数II・数B,簿,情報 } から1 理① 物基,化基,生基,地基から2 理② または物理,化学,生物,地学から1	から2 もしくは3 又は4 もしくは5	国	国語総合と国語表現,現代文A,現代文B, 古典A,古典Bを合わせたもの	から2
		後期 3月12日	外	英,独,仏,中,韓から1 〔外国語を含む5教科5科目もしくは6科目 又は 外国語を含む3教科3科目もしくは4科目〕		地歴	世B,日B,地理B } から1 政経 } から1 数 数I,数A,数II及び数Bを合わせたもの (数Aは全範囲,数Bは「数列」 「ベクトル」を出題範囲とする)	
			国	国 世A,世B,日A,日B, 地理A,地理B } から1 公民 現社,倫,政経,倫・政経 } から1 数① 数I,数I・数A, 数② 数II,数II・数B,簿,情報 } から1 理① 物基,化基,生基,地基から2 理② または物理,化学,生物,地学から1	から2 又は3	その他	小論文	
			外	英,独,仏,中,韓から1 〔外国語を含む3教科3科目もしくは4科目〕				

地域政策学部 注意事項

- 科目名等に使用している次の表示は、それぞれカッコ内の語を表します。
国（国語）、世（世界史）、日（日本史）、現社（現代社会）、倫（倫理）、政経（政治・経済）、倫・政経（倫理,政治・経済）、数（数学）、簿（簿記・会計）、情報（情報関係基礎）、物基（物理基礎）、化基（化学基礎）、生基（生物基礎）、地基（地学基礎）、英（英語）、独（ドイツ語）、仏（フランス語）、中（中国語）、韓（韓国語）
- 大学入試センター試験の利用教科・科目等及び選択教科の得点の取り扱いについて
 - 「地歴と公民から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
 - 「数学（①・②グループから1）」について、2科目受験した場合は、高得点の科目の得点を採用します。
※大学入試センター試験の数学に係るグループ区分については、大学入試センターのホームページを参照してください。（<http://www.dnc.ac.jp/>）
 - 「理科②から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
 - 英語にはリスニングを含みます。リスニングを受験しない場合は、失格となります。
 - 前期日程において、外国語を除く5教科（国、地歴、公民、数、理）のうちから4教科より多く受験した場合は、高得点の4教科又は2教科を採用します。
 - 後期日程において、外国語を除く5教科（国、地歴、公民、数、理）のうちから2教科より多く受験した場合は、高得点の2教科を採用します。
- 個別学力検査等について
前期日程において、「地歴」と「公民」の2教科については、出題4科目のうちから1科目しか選択できません。
- 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等について
 - 前期日程の5教科5科目受験において、大学入試センター試験の配点は、すべて150点に換算します。ただし、「英語」については、リスニングを含む250点を150点に換算します。
なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の「英語」については、筆記試験の得点を150点に換算します。
 - 前期日程の3教科3科目受験において、大学入試センター試験の配点は、「外国語」及び「国語」を100点に換算します。ただし、「英語」については、リスニングを含む250点を100点に換算します。
なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の「英語」については、筆記試験の得点を100点に換算します。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等									
試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	配点計
センター試験 5教科5科目	センター試験	150	150		150	150	150		750
	個別学力検査	*200	*200		*200		*200		400
	計								1150
センター試験 3教科3科目	センター試験	*100	*100		*100	*100	100		300
	個別学力検査	*200	*200		*200		*200		400
	計								700
センター試験		*100	*100		*100	*100	100		300
個別学力検査								150	150
計									450

(3)後期日程において、大学入試センター試験の配点は、「外国語」及び「国語」を100点に換算します。ただし、「英語」については、リスニングを含む250点を100点に換算します。

なお、リスニングテストの免除を大学入試センターに申請し、許可された者の「英語」については、筆記試験の得点を100点に換算します。

(4)配点に*印を付している教科は選択教科を表します。

5 選択方法について

(1)大学入試センター試験を5教科5科目以上受験した人については、5教科5科目受験による選抜と3教科3科目受験による選抜の2つの選抜の対象となります。3教科3科目又は4教科4科目受験した人については、3教科3科目受験による選抜の対象となります。

(2)5教科5科目で選抜する合格者は、定員の概ね30%とします。5教科5科目の合格者は、3教科3科目の選抜の対象から除外されます。

(3)3教科3科目で選抜する合格者は、定員の概ね70%とします。

4 経済学部 特別入試

(1) 推薦入試A

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科・国際学科）
募集人員	70人 内訳:小論文選択 55人（①地域推薦15人②全国推薦40人） 簿記・会計選択 15人 ※簿記・会計選択に出願できる者は、高等学校学習指導要領における専門教育に関する教科（商業）の科目のうち、簿記及び財務会計Ⅰを履修している者です。 ※小論文選択①、②、簿記・会計選択それぞれの募集人員に対して、1校2人まで推薦することができます。
出願資格	本学への入学を特に志望する者で、次の各号のすべてに該当する者 （1）高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者 （2）人物・学力ともに優秀で、かつ、勉学意欲が旺盛で、学校長が責任をもって推薦できる者 （3）入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者
選抜方法	◎小論文選択 英語【注1】、小論文、面接試験及び調査書等の提出書類により総合的に判定します。 ◎簿記・会計選択 英語【注1】、簿記・会計【注2】、面接試験及び調査書等の提出書類により総合的に判定します。 【注1】本学における課程履修に耐え得る最低限の英語能力を判定するための基礎学力試験です。 【注2】「簿記」「財務会計Ⅰ」を出題範囲とします。
出願期間	平成29年11月 1日（水）～ 平成29年11月 7日（火）
試験日	平成29年11月19日（日）
試験場	高崎
合格発表日	平成29年11月24日（金）
その他	平成30年度大学入試センター試験において試験科目『英語（リスニングを含む）』を自主的に受験することを強く勧めます。 センター試験の結果は可否には関係ありませんが、入学後の学業の参考としますので、センター試験を受験した場合には、自己採点結果を報告していただきます。

(2) 推薦入試B (大学入試センター試験利用自己推薦型)

実施学部・学科名	経済学部 (経済学科・経営学科・国際学科)
募集人員	30人
出願資格	<p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者、あるいは高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(2) 平成30年度大学入試センター試験を4教科4科目もしくは5科目(外国語を含む)以上受験する者</p> <p>(3) 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p> <p>※学校長の推薦は必要ありません。</p>
選抜方法	<p>平成30年度大学入試センター試験4教科4科目もしくは5科目(外国語を含む)の成績【注】、自己推薦書及び調査書等の提出書類により総合的に判定します。</p> <p>【注】大学入試センター試験の選択教科の得点の取り扱いについて</p> <p>(1) 「地歴と公民から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p> <p>(2) 「数学(①・②グループから1)」について、2科目受験した場合は、高得点の科目の得点を採用します。</p> <p>※大学入試センター試験の数学に係るグループ区分については、大学入試センターのホームページを参照してください。(http://www.dnc.ac.jp/)</p> <p>(3) 「理科②から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。</p>
出願期間	平成30年 1月 4日(木) ～ 平成30年 1月10日(水)
合格発表日	平成30年 2月 7日(水)
その他	書類選考のため、個別学力検査は実施しません。

(3) 帰国生徒

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科・国際学科）
募集人員	若干人
出願資格	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、保護者の海外勤務等のやむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>ただし、(1)又は(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とはみなしません。</p> <p>(1) 外国において学校教育の12年の課程のうち最終学年を含め2年以上継続して在籍し、平成29年(2017年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日までに卒業(修了)した者又は見込みの者</p> <p>(2) 日本の高等学校又は中等教育学校を平成30年(2018年)3月31日までに卒業見込みの者で、中・高等学校を通じ3年以上外国の学校で教育を受け、かつ、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間が2年未満の者</p> <p>(3) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p>
選抜方法	志望論文(出願時提出)、小論文及び面接試験により総合的に判定します。
出願期間	平成29年11月1日(水)～平成29年11月7日(火)
試験日	平成29年11月19日(日)
試験場	高崎
合格発表日	平成29年11月24日(金)
その他	大学入試センター試験を免除します。

(4) 社会人

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科・国際学科）
募集人員	若干人
出願資格	<p>平成30年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者（ただし、定時制、夜間及び通信制高等学校以外の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含めない。）で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年間の学校教育を修了した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>(4) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>※(4)で出願を予定している方は事前に、企画調整室入試チームに問い合わせてください。</p>
選抜方法	英語、小論文及び面接試験により総合的に判定します。なお、試験科目「英語」については、TOEIC、TOEFL iBT、実用英語技能検定のいずれかの成績を一定の方式により換算した得点をもって、本学が独自に実施する筆記試験に代えることもできます。
出願期間	平成29年11月17日（金）～平成29年11月24日（金）
試験日	平成29年12月17日（日）
試験場	高崎
合格発表日	平成30年1月9日（火）
その他	大学入試センター試験を免除します。

(5) 私費外国人留学生

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科・国際学科）
募集人員	若干人
出願資格	次の各号のすべてに該当する者 (1) 日本国籍を有しない者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号）、あるいは本学部が個別に認定した者 (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度（2017年度）日本留学試験（第1回又は第2回）の日本語（記述含む）及び総合科目の両科目の受験者
選抜方法	平成29年度（2017年度）日本留学試験（日本語（記述含む）・総合科目）の成績及び本学が実施する面接試験の結果を総合して判定します。 ※日本留学試験の日本語（記述除く）において、400点満点中200点以上得点した者を選抜の対象とします。
出願期間	平成29年11月17日（金）～平成29年11月24日（金）
試験日	平成29年12月17日（日）
試験場	高崎・東京
合格発表日	平成30年1月9日（火）
その他	大学入試センター試験を免除します。

(6) 2年次編入・転入 2-1

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科） ※国際学科の募集はありません
募集人員	若干人
出願資格	<p>1 次の各号のいずれかに該当し、かつ、他の大学又は本学他学部、短期大学又は専修学校の専門課程において修得した単位について、本学での事前審査によって本学部2年次進級要件を満たすことができる者 ※事前審査を経ないで出願した場合は、出願を認めません。</p> <p>《編入》</p> <p>(1) 他の大学又は本学他学部を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>(3) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(4) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者</p> <p>(6) 出願時において、他の大学又は本学他学部で1年以上（休学期間を除く）在学し、34単位以上修得して退学している者</p> <p>(7) 出願時において、他の大学又は本学他学部で2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得して退学している者</p> <p>(8) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専修学校の専門課程に限る）を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>(9) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>《転入》</p> <p>(1) 出願時において、他の大学に1年以上（休学期間を除く）在学し、34単位以上修得して在学中の者（出願時に4年制大学2年生以上の者）</p>

(6) 2年次編入・転入 2-2

選 抜 方 法	◎経済学科志願者 英語、経済学の基礎問題及び面接試験により総合的に判定します。 ◎経営学科志願者 英語、経営学の基礎問題及び面接試験により総合的に判定します。
事 前 出 審 査 期 間	平成29年 9月 4日(月) ~ 平成29年10月 6日(金)
出 願 期 間	平成29年11月17日(金) ~ 平成29年11月24日(金)
試 験 日	平成29年12月17日(日)
試 験 場	高崎
合 格 発 表 日	平成30年 1月 9日(火)
そ の 他	大学入試センター試験を免除します。 事前審査の詳細は編入・転入学学生募集要項をご確認ください。

(7) 3年次編入・転入 2-1

実施学部・学科名	経済学部（経済学科・経営学科） ※国際学科の募集はありません
募集人員	若干人
出願資格	<p>1 次の各号のいずれかに該当し、かつ、他の大学又は本学他学部、短期大学又は専修学校の専門課程において修得した単位について、本学での事前審査によって本学部2年次進級要件を満たすことができる者 ※事前審査を経ないで出願した場合は、出願を認めません。</p> <p>2 上記1に加えて、他の大学、短期大学又は専修学校の専門課程において修得した単位について、本学部2年次の「基礎演習」に相当する単位として認定を受けられる者</p> <p>《編入》</p> <p>(1) 他の大学又は本学他学部を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>(3) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(4) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者</p> <p>(6) 出願時において、他の大学又は本学他学部に2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得して退学している者</p> <p>(7) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専修学校の専門課程に限る）を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>(8) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>《転入》</p> <p>(1) 出願時において、他の大学に2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得して在学中の者（出願時に4年制大学3年生以上の者）</p>

(7) 3年次編入・転入 2-2

選 抜 方 法	◎経済学科志願者 英語、経済学の基礎問題及び面接試験により総合的に判定します。 ◎経営学科志願者 英語、経営学の基礎問題及び面接試験により総合的に判定します。
事 前 審 査 期 間	平成29年 9月 4日(月) ～ 平成29年10月 6日(金)
出 願 期 間	平成29年11月17日(金) ～ 平成29年11月24日(金)
試 験 日	平成29年12月17日(日)
試 験 場	高崎
合 格 発 表 日	平成30年 1月 9日(火)
そ の 他	大学入試センター試験を免除します。 事前審査の詳細は編入・転入学学生募集要項をご確認ください。

5 地域政策学部 特別入試

(1) 推薦入試 I

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	50人（高崎市立高崎経済大学附属高等学校5人含む）
出願資格	<p>高等学校（中等教育学校、特別支援学校※1、高等専門学校※1、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※1を含む）を平成30年3月卒業見込みの者又は平成26年3月以降卒業した者（卒業後4年以内）※2。</p> <p>※1に該当する場合は、事前に企画調整室入試チームにご連絡ください。</p> <p>※2 高等専門学校生については、平成30年3月に3年次を修了見込みの者又は平成26年3月以降に3年次を修了した者（3年次修了後4年以内）とします。</p>
出願要件	<p>次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1) 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心をもつ者</p> <p>(2) 学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(3) 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者</p>
選抜方法	<p>学校長の推薦書及び調査書、自己推薦書・活動実績報告書（出願時提出）、小論文（英語に関する問題を含む）及び面接試験により総合的に判定します。</p>
出願期間	平成29年11月 1日（水）～ 平成29年11月 7日（火）
試験日	平成29年11月19日（日）
試験場	高崎・仙台
合格発表日	平成29年11月24日（金）
その他	<p>平成30年度大学入試センター試験において試験科目『英語（リスニングを含む）』を自主的に受験することを強く勧めます。</p> <p>センター試験の結果は合否には関係ありませんが、入学後の学業の参考としますので、センター試験を受験した場合には、自己採点結果を報告していただきます。</p>

(2) 推薦入試Ⅱ (大学入試センター試験利用)

実施学部・学科名	地域政策学部 (地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)
募集人員	45人
出願資格	高等学校 (中等教育学校、特別支援学校※1、高等専門学校※1、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※1を含む) を平成30年3月卒業見込みの者。※2 ※1に該当する場合は、事前に企画調整室入試チームにご連絡ください。 ※2 高等専門学校生については、平成30年3月に3年次を修了見込みの者とします。
出願要件	次の各号のすべてに該当する者 (1) 地域社会の向上に貢献することに対し意欲・情熱・関心をもつ者 (2) 学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 入学を許可された場合、本学への入学を確約できる者 (4) 平成30年度大学入試センター試験を3教科3科目もしくは4科目 (外国語を含む) 以上受験する者
選抜方法	平成30年度大学入試センター試験3教科3科目もしくは4科目 (外国語を含む) の成績【注】、自己推薦書、学校長の推薦書及び調査書により総合的に判定します。 【注】大学入試センター試験の選択教科の得点の取り扱いについて (1) 「地歴と公民から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。 (2) 「数学 (①・②グループから1)」について、2科目受験した場合は、高得点の科目の得点を採用します。 ※大学入試センター試験の数学に係るグループ区分については、大学入試センターのホームページを参照してください。 (http://www.dnc.ac.jp/) (3) 「理科②から1」の科目の選択について、2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
出願期間	平成30年 1月 4日 (木) ～ 平成30年 1月10日 (水)
合格発表日	平成30年 2月 7日 (水)
その他	書類選考のため、個別学力検査は実施しません。

(3) 帰国生徒

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	若干人
出願資格	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、保護者の海外勤務等のやむを得ない事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>ただし、(1)又は(2)において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は外国において学校教育を受けた者とはみなしません。</p> <p>(1) 外国において学校教育の12年の課程のうち最終学年を含め2年以上継続して在籍し、平成29年(2017年)4月1日から平成30年(2018年)3月31日までに卒業(修了)した者又は見込みの者</p> <p>(2) 日本の高等学校又は中等教育学校を平成30年(2018年)3月31日までに卒業見込みの者で、中・高等学校を通じ3年以上外国の学校で教育を受け、かつ、日本の高等学校又は中等教育学校後期課程の在籍期間が2年未満の者</p> <p>(3) 外国においてスイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年(2016年)以降に授与された者で、平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達する者</p>
選抜方法	志望論文(出願時提出)、小論文及び面接試験により総合的に判定します。
出願期間	平成29年11月1日(水)～平成29年11月7日(火)
試験日	平成29年11月19日(日)
試験場	高崎
合格発表日	平成29年11月24日(金)
その他	大学入試センター試験を免除します。

(4) 社会人

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	若干人
出願資格	<p>平成30年3月31日までに満23歳に達し、社会人の経験を5年以上有する者（ただし、定時制、夜間及び通信制高等学校以外の学校の在学期間は、社会人の経験期間に含めない。）で、次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年間の学校教育を修了した者又は平成30年3月卒業見込みの者</p> <p>(3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</p> <p>(4) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>※(4)で出願を予定している方は、事前に企画調整室入試チームに問い合わせてください。</p>
選抜方法	志望論文（出願時提出）、小論文及び面接試験により総合的に判定します。
出願期間	平成29年11月 1日（水）～ 平成29年11月 7日（火）
試験日	平成29年11月19日（日）
試験場	高崎
合格発表日	平成29年11月24日（金）
その他	大学入試センター試験を免除します。

(5) 私費外国人留学生

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	25人
出願資格	次の各号のすべてに該当する者 (1) 日本国籍を有しない者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（昭和56年文部省告示第153号） (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度（2017年度）日本留学試験（第1回又は第2回）の日本語（記述含む）及び総合科目の両科目の受験者
選抜方法	平成29年度（2017年度）日本留学試験（日本語（記述含む）・総合科目）の成績、本学が実施する小論文及び面接試験の結果を総合して判定します。
出願期間	平成29年11月17日（金）～平成29年11月24日（金）
試験日	平成29年12月17日（日）
試験場	高崎・東京
合格発表日	平成30年1月9日（火）
その他	大学入試センター試験を免除します。

(6) 私費外国人留学生 (2次)

実施学部・学科名	地域政策学部 (地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科)
募集人員	若干人
出願資格	次の各号のすべてに該当する者 (1) 日本国籍を有しない者 (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 (昭和56年文部省告示第153号) (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度(2017年度)日本留学試験 (第1回又は第2回) の日本語 (記述含む) 及び総合科目の両科目の受験者
選抜方法	平成29年度(2017年度)日本留学試験 (日本語 (記述含む) ・総合科目) の成績、本学が実施する小論文及び面接試験の結果を総合して判定します。
出願期間	平成30年 1月 4日 (木) ~ 平成30年 1月10日 (水)
試験日	平成30年 1月28日 (日)
試験場	高崎
合格発表日	平成30年 2月 7日 (水)
その他	大学入試センター試験を免除します。

(7) 2年次編入・転入

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	10人（群馬県内推薦若干人を含む）
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>《編入》</p> <p>(1) 他の大学又は本学他学部を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>(3) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(4) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者</p> <p>(6) 他の大学又は本学他学部で2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得して退学した者</p> <p>(7) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専修学校の専門課程に限る）を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>(8) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>《転入》</p> <p>(1) 他の大学に在学中の者で、2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得している者又は平成30年3月31日までに2年以上（休学期間を除く）在学見込みで、62単位以上修得見込みの者</p>
選抜方法	小論文及び面接試験により総合的に判定します。
出願期間	平成29年 8月18日（金） ～ 平成29年 8月25日（金）
試験日	平成29年 9月16日（土）
試験場	高崎
合格発表日	平成29年 9月22日（金）
その他	大学入試センター試験を免除します。

(8) 3年次編入・転入

実施学部・学科名	地域政策学部（地域政策学科・地域づくり学科・観光政策学科）
募集人員	25人（群馬県内推薦若干人を含む）
出願資格	<p>次の各号のいずれかに該当する者</p> <p>《編入》</p> <p>(1) 他の大学又は本学他学部を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学評価・学位授与機構で学士の学位を取得している者又は平成30年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>(3) 短期大学を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(4) 高等専門学校を卒業した者又は平成30年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(5) 外国において、学校教育における14年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者</p> <p>(6) 他の大学又は本学他学部で2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得して退学した者</p> <p>(7) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、課程修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上の専修学校の専門課程に限る）を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>(8) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）</p> <p>《転入》</p> <p>(1) 他の大学に在学中の者で、2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得している者又は平成30年3月31日までに2年以上（休学期間を除く）在学見込みで、62単位以上修得見込みの者</p>
選抜方法	小論文及び面接試験により総合的に判定します。
出願期間	平成29年 8月18日（金） ～ 平成29年 8月25日（金）
試験日	平成29年 9月16日（土）
試験場	高崎
合格発表日	平成29年 9月22日（金）
その他	大学入試センター試験を免除します。

6 学生募集要項請求方法、配布開始日及び問い合わせ先

1 請求方法

一般入試・・・テレメール、モバっちよ、または本学に請求してください。

(前期日程、公立大学中期日程、後期日程)

※経済学部的前期日程、公立大学中期日程入試、地域政策学部的前期日程、後期日程入試が一冊綴りとなっています。本学に請求された場合、手続き日数が長くなりますので、できるだけテレメールやモバっちよをご利用ください。

特別入試・・・本学に請求してください。

(私費外国人留学生の2次、社会人、推薦、帰国生徒、編入・転入)

※経済学部の推薦B、地域政策学部の推薦Ⅱ及び私費外国人留学生(2次を除く)については、テレメールで請求することが可能です。本学に請求された場合、手続き日数が長くなりますので、推薦Bや推薦Ⅱ、私費外国人留学生(2次を除く)のみ請求される場合は、できるだけテレメールをご利用ください。

経済学部

入試区分	試験区分	配布開始日	募集要項の入手方法		
			テレメール	モバっちよ	本学に請求
一般	前期日程	11月中旬	○	○	○
	公立大学 中期日程		○	○	○
特別	推薦入試A※	9月中旬	—	—	※
	推薦入試B		○	—	○
	帰国生徒		—	—	○
	社会人	10月中旬	—	—	○
	私費外国人 留学生	7月中旬	○	—	○
編入・転入	—		—	○	

※推薦入試Aの募集要項は、高等学校等を通して請求してください。

受験者個人の請求には応じません。

地域政策学部

入試区分	試験区分	配布開始日	募集要項の入手方法		
			テレメール	モバっちよ	本学に請求
一般	前期日程	11月中旬	○	○	○
	後期日程		○	○	○
特別	編入・転入	7月中旬	—	—	○
	推薦入試Ⅰ	9月中旬	—	—	○
	推薦入試Ⅱ		○	—	○
	帰国生徒		—	—	○
	社会人		—	—	○
	私費外国人 留学生	7月中旬	○	—	○
	私費外国人 留学生(2次)		—	—	○

① テレメールで請求する場合

ア. 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネットの場合	電話（自動音声による応答）の場合
<p>http://telemail.jp (パソコン・携帯電話各社共通アドレス)</p>  	<p>050-8601-0101</p> <p>※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約12円です。</p>

イ. 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてガイダンスに従ってください。

資 料 名	資料請求番号	送 料	発送開始日
大学案内	561552	215円	6月上旬
一般入試募集要項	581562	250円	11月中旬
一般入試募集要項・大学案内	541562	300円	11月中旬
経済学部推薦入試B（センター試験利用）募集要項	585242	140円	9月中旬
経済学部推薦入試B（センター試験利用）募集要項・大学案内	585282	250円	9月中旬
地域政策学部推薦入試Ⅱ（センター試験利用）募集要項	585292	140円	9月中旬
地域政策学部推薦入試Ⅱ（センター試験利用）募集要項・大学案内	585422	250円	9月中旬
経済学部私費外国人留学生入試募集要項	595422	140円	7月下旬
経済学部私費外国人留学生入試募集要項・大学案内	595432	250円	7月下旬
地域政策学部私費外国人留学生入試募集要項（2次を除く）	595442	140円	7月下旬
地域政策学部私費外国人留学生入試募集要項（2次を除く）・大学案内	585452	250円	7月下旬

- * 受付から1～2日程で送付されます。ただし、発送開始日前の請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から1～2日程で資料が届きます。
- * 電話によるご請求の場合、住所及び名前の登録時には、ゆっくり、はっきりとお話してください。登録された音声の不鮮明な場合は、到着まで時間がかかる場合があります。
- * 送料は、お届けした資料に同封されている支払い方法に従ってお支払いください。

ウ. 支払い手数料（資料毎）
 郵便局払い 130円、コンビニ払い 86円、ATM 80円
 携帯電話・スマートフォン 50円、クレジットカード 50円

◎「テレメール」での請求に関する問い合わせ先
 テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

② モバっちよで請求する場合

ア. 携帯電話・スマートフォンを利用する場合



*こちらの請求方法の場合、資料請求料金を通話料金と一緒に支払いいただけます。また、クレジットカード決済、コンビニ後払いも可能です。

イ. パソコンを利用する場合

<http://djc-mb.jp/tcue/>

*こちらの請求方法の場合、資料請求料金の支払いは、クレジット決済又はコンビニ後払いとなります。

ウ. 取扱資料名

資 料 名	料 金	発送開始日
大学案内	200円	6月上旬
一般入試募集要項	200円	11月中旬
一般入試募集要項・大学案内	300円	11月中旬

エ. 支払い手数料（資料毎）

支 払 い 方 法	手数料
携帯電話払い、スマートフォン払い、クレジットカード決済	50円
コンビニ後払い	126円

◎「モバっちょ」での請求に関する問い合わせ先
モバっちょカスタマーセンター TEL 050-3540-5005（平日10:00～18:00）

③ 本学に請求

①窓口で請求する場合

企画調整室入試チームで配布します。

配布時間：平日8:45～17:30

②郵送で請求する場合

(A) 大学宛封筒に (B) 返信用封筒、 (C) 大学資料請求書を同封のうえ、下記問い合わせ先まで送付してください。

(A) 大学宛封筒（長形3号）

封筒の表に、本学の宛先を記入し、余白に「〇〇学部〇〇入試学生募集要項請求」と朱書きしてください。裏には、請求者本人の住所、氏名を記入してください。

(B) 返信用封筒（角型2号）

請求者本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、送料分の切手を貼ってください。

(C) 大学資料請求書（本学ホームページより入手可）

請求に不備や不明な点がある場合に本学から連絡することがありますので、電話番号を必ず記入してください。

③送料着払いで請求する場合

大学資料請求書に必要事項を記入し、FAXで送付してください。

2 問い合わせ先

〒370-0801

群馬県高崎市上並榎町1300番地

高崎経済大学 企画調整室 入試チーム

TEL 027-344-6265（直通）

FAX 027-344-7892（直通）

E-mail nyushi@tcue.ac.jp



高崎経済大学案内図



(交通)

J R 高崎駅西口から群馬バス (2 番乗場) 約 20 分

本郷経由室田行
沖経由箕郷行
榛名湖行 } 「経大前」下車 (300 円)

J R 北高崎駅から徒歩 約 25 分

J R 高崎駅西口からタクシー 約 15 分